

## 平成 22 年度当初予算 施策別概要

### 3 1 2 治山・治水・海岸保全 対策の推進

( 主担当部：県土整備部 )

31201	土砂災害対策の推進	( 県土整備部 )
31202	治山対策の推進	( 環境森林部 )
31203	洪水防止対策の推進	( 県土整備部 )
31204	海岸保全対策の推進	( 県土整備部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 県民の生命・財産が

( 意図 ) 洪水や高潮、土砂災害などによる被害から守られている

< 施策の数値目標 > 21 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目 ( 主指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
自然災害から守られる人家等の資産額	目標値	-	7 兆 2,982 億 円	7 兆 3,870 億 円	7 兆 4,177 億 円	7 兆 4,485 億 円
	実績値	7 兆 2,067 億 円	7 兆 3,018 億 円	7 兆 4,014 億 円	7 兆 4,315 億 円	

河川、砂防、海岸において、自然災害を防止するための施設整備を実施することで、守られる人家および家財の推定資産額

県の取組目標項目 ( 副指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
土砂災害保全率	目標値	-	25.0%	25.2%	25.4%	25.6%
	実績値	24.4%	25.0%	25.2%	25.4%	
河川整備率	目標値	-	37.9%	38.5%	38.6%	38.7%
	実績値	37.4%	37.9%	38.5%	38.6%	
海岸整備率	目標値	-	64.0%	64.4%	65.2%	65.6%
	実績値	63.6%	64.1%	64.8%	65.2%	

#### < 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・ 近年、各地で発生している局地的な集中豪雨などにより甚大な被害をもたらされていることから、自然災害に対する不安が高まっています。
- ・ 自然災害から生命・財産を守っていくためには、被害を最小化する「減災」の観点から、より一層、重点的、効果的に施設整備を行っていく必要がありますが、整備には長い年月と莫大な費用を要することから、住民の避難情報の拡充など、早期に効果が期待できるソフト対策を併せて進めていく必要があります。
- ・ 古くから川や海は、産業や文化の形成に役立ってきましたが、近年は自然災害に対する防災機能に加え、緑の保全や創出、親水性、自然豊かな水辺空間、景観の保全などの多様な付加価値が求められています。

<平成22年度の取組方向>

土砂災害対策については、平成20年9月に県北部を中心に発生した局地的集中豪雨によるものなど、土砂災害が発生した箇所において再度災害を防止するための事業を実施するとともに、避難所や災害時要援護者施設等を保全する砂防施設等の整備を進め、被害の軽減に努めます。また、土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定や土砂災害に関する情報の行政と住民との共有化を行うなどソフト対策に取り組み、被害の軽減に努めます。

治山対策については、山腹崩壊地や浸食されている溪流などの荒廃山地を復旧整備し、山地災害の防止、軽減を図ります。また、公益的機能の低下した保安林において災害に強い森林づくりとして、間伐等の森林整備を進めます。

洪水防止対策については、堤防整備などのハード対策の推進や浸水想定区域図の提供などのソフト対策を実施し、自然災害に対する県民の安全・安心の確保をはかります。

海岸保全対策については、高潮や波浪等による被害の恐れがある海岸や侵食が著しい海岸において施設整備を進め、災害に対する安全性の向上をはかります。また、津波対策として大型防潮扉の動力化を進め、被害の軽減に努めます。

各施設の整備にあたっては、防災機能の向上だけでなく、自然豊かな水辺空間の創出や河川や海岸の景観・環境の保全に努めます。さらに、各市町や地域住民と連携し、防災訓練等を実施し、地域の防災力の向上をはかります。

<主な事業>

国補通常砂防事業【基本事業名：31201 土砂災害対策の推進】

(第8款 土木費 第3項 河川海岸費 3砂防費)

予算額：(21) 2,390,000千円 (22) 1,852,000千円

(2,480,000千円 1,852,000千円

2月補正含みベース)

事業概要：土砂災害から下流部に存在する人家、耕地、公共施設などを守るため、砂防堰堤等の整備を行います。

砂防激甚災害対策特別緊急事業【基本事業名：31201 土砂災害対策の推進】

(第8款 土木費 第3項 河川海岸費 3砂防費)

予算額：(21) 226,000千円 (22) 450,000千円

事業概要：平成20年9月に発生した土石流災害対策として砂防堰堤を整備し、再度災害を防止することにより住民の安全を確保します。

(一部重)砂防等基礎調査事業【基本事業名：31201 土砂災害対策の推進】

(第8款 土木費 第3項 河川海岸費 3砂防費)

予算額：(21) 105,000千円 (22) 234,000千円

事業概要：土砂災害から人名を守るため、災害履歴が多い市町を中心に、土砂災害のおそれのある区域の明確化、警戒避難体制の整備支援のための基礎資料を実施し、土砂災害警戒区域等を指定します。

治山事業【基本事業名：31202 治山対策の推進】

(第8款 農林水産業費 第4項 林業費 7 治山費)

予算額：(21) 2,793,427千円 (22) 2,247,110千円

事業概要：山地災害の防止や良質な水の安定供給など県民生活の安全を確保するため、治山施設の整備を進めるとともに水源地域などの森林の造成整備を総合的に実施します。

(一部重) 河川改修事業【基本事業名：31203 洪水防止対策の推進】

(第8款 土木費 第3項 河川海岸費 2 河川改良費)

予算額：(21) 3,658,956千円 (22) 4,074,370千円

(3,808,956千円 4,074,370千円

2月補正含みベース)

事業概要：洪水等による災害を防止・軽減するため、自然環境や生態系に配慮しながら、河川堤防の整備等を行います。

浸水想定区域調査【基本事業名：31203 洪水防止対策の推進】

(第8款 土木費 第3項 河川海岸費 1 河川総務費)

予算額：(21) 17,600千円 (22) 15,000千円

(27,600千円 15,000千円 2月補正含みベース)

事業概要：洪水等による災害を軽減するため、緊急度・重要度の高い主要中小河川で浸水想定区域図を作成します。

(一部重) 海岸高潮対策事業【基本事業名：31204 海岸保全対策の推進】

(第8款 土木費 第3項 河川海岸費 4 海岸保全費)

(第8款 土木費 第4項 港湾費 2 港湾建設費)

予算額：(21) 1,471,000千円 (22) 1,217,400千円

(1,571,000千円 1,217,400千円

2月補正含みベース)

事業概要：高潮対策として人工リーフや堤防などの整備と、津波対策として大型防潮扉の動力化を進めます。